

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	社会福祉法人神港園レインボー西宮		
○保護者評価実施期間	R6年 1月 15日 ～ R7年 2月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R6年 2月 1日 ～ R7年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・遊びを軸にした支援(個別、集団活動)	・児童それぞれの好きな遊びや興味があることについて、可能な限り実施できるようにしている。その際には危険がないか結果どうなったかなど遊びを進める中でも発見を得られるようにしている。 ・個別の遊びの他に「集団活動」の時間を設定しており、みんなで1つの活動に取り組む時間を作っている。参加は強制ではなくあくまで自主的に取り組むように促し、参加が難しい時は「見学します」「参加できません」と自身の気持ちを伝えてもらうようにしている。	学年や性別にとらわれず、その子自身が「楽しみ」を持って日々の遊びができるように環境を整える。集団活動なども実施内容が固定化されないよう、さまざまな取り組みを実施していく。
2	・子ども主体の関わり	・子ども自身が自発的にいろいろな活動やイベントに参加できるように取り組んでいる。 例)夏祭り実行委員会／子ども達がイベントの内容や企画を相談しながら進めていきます。企画終了後には個々に表彰している。	今後も取り組みを継続していく。
3	・保護者と職員間の関係が構築されている。	・日々の支援の内容や出来事を連絡帳や送迎時のタイミングで出来るだけ分かりやすく伝えている。その際には「出来たこと」「よく頑張って取り組めていたこと」などポジティブな部分をお伝えしている。危険があった、他児とのトラブルがあった際には電話やLINE等で事情や経緯を説明するようにしている。 ・学校でのトラブルや家庭での困り事、他児との関係など、保護者が抱えておられるお悩みや相談などがある際にいつでもLINE等で連絡を頂けるよう窓口を広げている。	保護者支援も大切なポイントであるという認識を職員全員で共有し些細なことでも情報を共有していく。
4	・高齢者施設が併設されている (デイサービスやグループホーム)	・いろいろな行事やイベントを企画する際に児童だけでなく高齢者の方にも参加して頂き高齢者との関わりを持つことができる。(子供まつり、ハロウィン、昔遊び企画など)	他事業所ではあまりないポイントであると感じている為、自事業所の強みとして今後も活動を企画していく。また高齢者事業側からも児童との関わりを持つことで刺激を多く感じて頂けると思うので相乗効果が期待できる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部(地域の事業所や公民館など)との関り	自事業所だけではできることが限られる為、いろいろな社会資源や地域での活動に参加することで繋がりが生まれるように感じる。	まずは地域に自事業所で「どんなことをしているか」「どのようなことができるのか」などの情報を発信して行く必要がある。そのた為にもまず職責者が地域行事の参加や情報収集に努めることが必要。
2	・高齢者施設が併設されている (デイサービスやグループホーム)	現在、事業所内に6台の車両があるが、高齢者事業のデイサービスなどと車両を共有して為、車両使用時にに制限が掛かってしまうことがある。	事業所間で事前に使用状況の確認を行う。

3	・未経験からの入職者へのサポート	入職時期(長期休みや多忙期)によっては十分なOJTや業務指導ができないことがある。知識習得や資格取得に向けての研修参加などは適宜、必要に応じて取り組んでいる。	未経験からであっても対応や関わりに差が生じないように職員共通の意識として「支援マニュアル」を作成している。この支援マニュアルを基に日々の支援を行うことを継続していく。資格取得に向けてもさまざまな研修へ参加できるよう調整していく。
---	------------------	---	--